



# 八 剣 山 通 信



第73号

八 剣 山 発 見 隊  
2008年6月22日 発行

6月22日(土)、23日(日)

「りんごの小さい実のすぐり体験」を実施しました。

## 【行事の概要】

今年は例年よりも2週間ほど早く、5月はじめの連休ころには、ふくらみかけた芽から、淡いピンク色の花びらをのぞかせていたりんごの花は、中旬には果樹園をまっ白くおおうほど枝にたくさんの花を咲かせていましたが、それから一月半が経過して、今はその花の一つ一つが小さい実となって、枝いっぱいについています。

果樹園ではおいしいりんごを作るために、1月から3月頃にかけてはせん定作業、4月から6月には肥料まきや草刈り、6月には消毒作業と今回行う摘果作業、9月には太陽の光が当たってりんごが赤く色づくように、周囲の葉をもいだり、りんごの青い部分を回して光に当てる作業を行います。その結果、真っ赤なおいしいりんごが収穫できるのです。

1個のりんごを作るためには、季節ごとに数多くの作業が必要となります。特に、小さい実の摘果(すぐり)作業は、おいしいりんごを作るためには重要で、このまま小さい実を生かさせると、それぞれの実に養分が分散され、実が大きくなるだけではなく、りんご本来のおいしさも薄くなってしまふことから、りんごの実が小さいうちに摘果を行うことにより、収穫の秋には甘くて大きいりんごとなるよう作業を行う必要があります。

また、7月にはピンポンの球くらいに大きくなった実から形が良い実を残すため、再度摘果を行います。その結果、はじめに付いていた実の97~98%が摘果により落とされてしまうこととなります。

・主 催 : 八剣山発見隊

## 【今回の行事開催場所】



## 【行事の感想】

今回の行事については北海道新聞に掲載されたことから、隊員以外にもたくさんの参加があり、この2日間で60人を超える皆さんが、りんごの摘果作業を行いました。

はじめに園主の瀬戸さんからりんごが収穫されるまでの各種の作業内容と摘果方法についての説明を受けてから、実際にりんごの木で摘果の方法について指導を受けながら、参加者ごとに摘果作業を行いました。

りんごの小さい実は、5~6個が固まって付いており、その中から中心の大きい実を1個だけ残して、ほかの実はずべて摘み取ってしまいます。

高い位置にある実は、脚立を使って摘み取りましたが、いくら摘み取っても実が減らないぐらい、たくさんの実が付いているりんごの木もありました。しかし足下には摘果された実が敷き詰められたように落ちており、摘果された実の多さが、あらためて感じられました。

7月にもう一度摘果作業を行い、9月に葉もぎを行って、9月の中ごろから真っ赤なりんごの収穫がはじまります。



【脚立に乗って作業する参加者】

## 【今後の行事予定】

- ・ 7月5日 イチゴの苗床の整理体験(隊員限定企画)
- ・ 13日 2008 八剣山さくらんぼ祭り
- ・ 21日 北海道森林スポーツフェスタ2008 in 定山溪

発行 : 八剣山発見隊 (事務局長 瀬戸 修一)

061-2275 札幌市南区砥山84番地  
TEL&FAX 011-596-2694  
E-mail setsyujp@ybb.ne.jp  
http://www.hakkenzan.com/

## りんごの小さい実のすぐり体験



【 3月に実施したせんだい講習会の様子 】



【 5月中旬に咲いたりんごの花 】



【 家族で一緒に行う摘果作業 】



【 指導を受けながらの摘果作業 】



【 小さい子も参加して 】



【 摘果により落とされたりんごの実 】

